

これからの小中学校について意見交換会記録

【令和5年6月13日(火)南部構造改善センター】

【白須賀地区に関して】

- ・白須賀地区民が一生懸命税金を出し白須賀の学校を作ってきた。白須賀区民の税金で学校ができていると言ってもおかしくないはず。だから、学校は地域のものであるはず。
- ・学校運営に携わるPTAの皆さんは、働き盛り。そのため、学校へのボランティア的な支援ができない。それをやっているのは、年寄り。だから、年寄り抜きには学校はやっていけない。
- ・通う中学校がわかれたあとの、自治体の活動や消防団についても市は考えていない。
- ・白須賀が発展する可能性があるのは、誰だってわかる。三遠南信道路がつながると、鷺津から浜松に通うよりも、白須賀から浜松に通った方がはるかに速い。
- ・少人数が良いと言って白須賀に来てくれた人もいる。体が不自由な子どもと一緒に運動会などができるのも白須賀の良いところの一つと言える。
- ・白須賀は工業の発展がめざましいので、住宅の方にも力を入れていただいて、学校をなくすという方向よりも、子どもたちが増えるという取組をぜひ進めてほしい。

【学校規模に関して】

- ・浜松の例だと、隣の尾奈小41人で複式学級をやっている。平山小41人、少ない学年は3人。西気賀小は、31人。伊目小79人、金指小が73人というふう
に小規模校もたくさんある。
- ・これからは全国的に人口が減少するので、小規模校ばかりになっていくはず。
- ・大規模の小学校で集団が出来上がった中、中学校から4、5人の白須賀の子が混ざってうまくやれるとは思えない。その結果、不登校になってしまわないか心配である。
- ・中学校から大規模校に通うならば、小学校から大規模校に通った方が、人間関係などは良好になるのではないか。
- ・今後の話で、もし中学校から大規模校へ通うことになるのであれば、小学校の時から学校間で交流等が行われると良いと思う。ぜひ取り入れてほしい。

【通学に関して】

- ・西長谷から岡崎中学校まで6キロある。これは適正な通学距離とは思えない。

- ・中学で部活動などを終えた後、暗い夜道を自転車で下校させるのはすごく心配である。
- ・新居中学校区への通学に関しては、津波が心配という家庭が多いと思う。今後検討していただきたい。

【アンケートに関して】

- ・白須賀区民は 4000 人いる。アンケート結果がどれだけの人の意見を反映しているかという点、疑問に思う。
- ・もっと地域の人たちの意見を尊重してほしい。
- ・アンケートに子供の意見を入れてみてはどうか。大人の意見ばかりで決めるよりも、多面的多角的に物事を考えられるかもしれない。そうすることで、子供たち自身にも問題意識を持ってもらえると良い。
- ・全国で統廃合した学校はいくつもあると思う。統廃合した結果、「子供たちがどう感じているのか。」という、情報を集めることができないか。
- ・アンケート 1 回の結果で、いきなり廃校というまとめ方はいかなものなのか。集計は大変だと思うけれど、議論をするにはさらに何回かアンケートを取ったほうが良いと思う。
- ・アンケートの回答について、「現状維持」という項目を復活させてほしい。
- ・アンケート結果は、湖西市のホームページにアクセスしないと閲覧できない状態。そうすると、意見交換できてないように感じる。興味のある当事者意識の高い人しかアンケートを閲覧していないと思う。
- ・意見交換会においても、もう少し子育て世代にもアナウンスをしてほしい。
- ・アンケート結果は、小学校に通っている子の親と就学前の子の親とで、結果が異なっていると思う。もう少し分析する必要があると思う。

【意見交換会に関して】

- ・3 回目の意見交換会の時に市長さんが「現状維持はありません。廃校ありきです。」と、突然言い出した。今まではどうやったら白須賀中学校を発展させられるだろうかということを考えてやってきたら突然の廃校案でびっくりした。
- ・意見交換会に、何人出席したのか報告してほしい。回数だけでなく、人数を把握して意見交換会を進めていきたい。

【その他の意見】

- ・コミュニティスクールは、学校を核とした地域作り。だから、学校なくして地域作りはできない。
- ・市の行政が悪い。住宅は建たない。雇用促進住宅は、鷺津の浜名湖電装のすぐ

- 前にある。浜松だって、はじっこにあるから湖西も端に建てれば良い。
- ・今変えられる未来があるのに、小学校を現状のままとするというその決断に少し納得がいかない。
 - ・根本的な問題として、調整区域とかあるいは工業地域とかの規制がきつくて住宅が建てられない。結果、人口の流れが止まってしまっている現状がある。
 - ・湖西にも大学があると良い。短大や4年制大学などを誘致する気概があるか。
 - ・大規模校の中間層ぐらいの子は必ずリーダーになれない。だけど、人数が少ないと、自然にリーダーシップをとるようになる。それが小規模校の良いところ。
 - ・行政は、白須賀は田舎だからといって、下水処理場や産業廃棄物処理場を持ってきた。それ以外何をやったかという、この構造改善センターを作ったくらい。
 - ・新聞の記事だと結果が決定したような書き方であった。意見交換会を何回か経て、多少方向性が変わるのならば、それを期待する。

【会の中での質問と回答】

<質問①>

白須賀地区に小中一貫校を作ることはできるのか。

<回答①>

アンケートでは、6割の方が大きな中学校に通いたいと回答した結果がでている。資料で提示した児童生徒数の推移を見ると、この先20人以下になっていくことが予想される。現状は、小学校中学校とも1クラスずつである。多くの方が、小中一貫校よりも大きな中学校に通うことを望んでいる。

<質問②>

小学校から大規模校に通う案にしない理由を聞きたい。

<回答②>

白須賀地区の小学校は、地域の方の協力を得ながら子どもたちに豊かな体験活動をしている。豊かな体験をこれからも充実させながら、小学校のうちはやはり少人数の中で、子どもたちをきめ細やかに見ていく。そういった観点から、小学校はこのまま残していくという考えである。

<質問③>

意見交換会がどうして予約制なのか。もっとオープンな形式でも良いのでは。

<回答③>

当日参加も受け入れている。コロナウイルス感染症の懸念もあり、事前予約制にした。